



会報「VG 槻輪だより」
第200号おめでとう

「じゅいませす

これから皆様がボランティア活動を続けられるとき、うまく行くとき行かないときあると思います。

私の考えではボランティア活動は自分の時間などを他人のために使うこと、ご承知のように、ボランティア活動のキーワードに「寄り添う」「共感」

「傾聴」など沢山あります。皆様の活動のとき何かのお役にたつかと思いつつ手なことですが、山口県の生まれの金子みずずの詩2編を紹介させていただきます。

私も山口生まれですから。

わびごと

私がさびしいとき
よその人は知らないの。
私がさびしいとき
お友達は笑うの。
私がさびしいとき
お母さんはやさしいの。
私がさびしいとき
私さまはさびしいの。

「遊ぼう」っていうと

「遊ぼう」っていうと
「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていうと

「もう遊ばない」って
いうと

「もう遊ばない」って
いうと

「もう遊ばない」って
いうと

「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていうと



パソコン教室第1期生と
記念写真(左端: 宮津さん)

「VG 槻輪だより」は
高槻ボランティアの年輪

会の目的は、街づくりに関する市民活動と聞きまし。自然環境、生きがい、文化、安全、福祉、など事

業内容は多岐にわたって

います。そして活動で広がる出会いの場を作り、会員の「大きな生きがい」と楽しみを見出します。平成16年槻輪より創刊号を見

たとき、会員の「大きな」という文字に感動したことを思い出します。

そして槻輪は、「何をやる会ですか」ではなく、「何をしたいですか」そのしたいことをみんなで考え活動してきました。

(会報121号大岡会長記)

NPOフェスタには必ず参加しました。シニアにこに活動(シニアマッチング)にも積極的に参加して

てくれました。庭の草引き、家具移動、樋の清掃、庭の散水、そしてパソコン教室

など。ボラセンを中心に開催した、フリーマーケット

にも参加し、収益を寄付してきました。リサイクル眼鏡

の活動も続けています。17年前、槻輪だよりで

「わがまち紹介」を開始しました。それは、高槻をも

つと知って、高槻を好きになろうとして始めた活動

でした。そして高槻をもつと好きになった槻輪の

人々の活動が、高槻を支える活動として、市民の中に

浸透してゆきました。

2004年から16年余り、終わってみれば懐かしい

記録でもあります。長い長い仲間の活動の記録で

あり、またかかわった市民の記録でもあります。

200号、欠けることなく発行され届けられ、協働

プラザには、分厚い3冊のファイルとして保管されています。それは、高槻の

ボランテニアの歴史を知

る貴重な資料でもあり高

槻のボランテニアの生き

ざまの記録でもあります。

槻輪だよりの発行が、さ

らにさらに続けられ、その

槻輪の活動が記録され続

けることを願うものであ

ります。

高槻市市民公益活動

サポートセンター

前センター長

長谷川 隆

「VG 槻輪だより」
創刊200号

おめでとうございます

16年余にわたり、毎月

発行してこられたご努力

には感謝いたします。

「まちづくり塾」の講座

の内容が参加者の心に

残ったとしても、サポート

センターのスタッフとして

は、それが「新しい

団体」という「見える

形」で活動を始められた

意気込みに「成果があつ

た」と、うれしかったの

を覚えていきます。

その活動を支える形

で、長きにわたり会報

「VG 槻輪」を出し続けて

こられたこと、そこには

活動の成果が結集されて

います。当時のみなさん

が、ほとんど引退された

とのこと、時間の経過を

感じるとともに、変わる

ことなく続けてこられた

大岡さんのご努力に敬意

を表します。

で、ボランテニア活動につ

いての話を聞きしてから

です。

その当時VG 槻輪団体の

ボランテニア活動と言う意

味がまったく分かっておら

ずボケつと聴いていまし

た。年月が経つうちにNPO

フェスタに参加した際に、活

動を教えて貰いました、その

時の会場における展示方法

の素晴らしさに感動しまし

た。以後毎年VG 槻輪の展示

を楽しみにして作ろうと

挑戦しましたが、出来ませ

んでした。

ボランテニア活動に対す

る、打ち込み態度、優秀な人

材の豊富さ、組織力の違い

を知り諦めました。

しかし大岡さんの、リー

ダーシップは背中を見な

がらずと吸収すること

については、諦めていま

せん。今や設立より20年にな

ろうとしています、今後も

大岡さんの元気な背中を見

続け少しずつ前へと歩きた

く思っています。ありがと

うございます。

「花と緑の救援隊

高槻支部代表 岡野 光伸

※編集部メモ

「VG 槻輪」は、いつも「ま

ちづくり」の協働体です。

よろしくお願ひします。

「花と緑の救援隊」と

「VG 槻輪」は、いつも「ま

ちづくり」の協働体です。

よろしくお願ひします。